

じゃおクラブ 第31回通常総会 報告

本年のじゃおクラブの通常総会は、3年ぶりに対面方式で開催すべく準備を進め、参加希望者を募りましたが、参加希望者が少なかつたため、やむなく、昨年同様にオンライン方式により議案説明会とWebアンケート方式（Eグループ会員）および郵便（非Eグループ会員）による議決権行使により開催いたしました。

議決権行使の結果、議案説明会の議事内容について報告します。

1. 議決権行使結果

議決投票総数 63 件 （投票率 50.8%）

議案	議案名	賛	否	白票
第1号	2021年度活動報告	63	0	0
第2号	2021年度決算報告および監査報告	63	0	0
第3号	2022年度活動方針および活動計画	62	1	0
第4号	2022年度予算案	63	0	0
第5号	新入会員入会キャンペーンの継続について	59	3	1
第6号	2022年度役員選出案	63	0	0

上記の結果、賛成多数により全議案は承認されました。

<地域じゃお別の投票率>

地域	回答数	地域別投票率
湘南	18	50.0%
県央	14	48.3%
ベイサイド	13	40.6%
多摩・田園	18	66.7%
全体	63	50.8%

2. 議案説明会の議事内容（議事録から抜粋）

開催日時： 2022年5月7日（土） 13:00～14:30 オンライン開催

参加者： 19名

議長： 福山委員

議事内容：

- 第1号議案「2021年度活動報告」、第2号議案「2021年度決算報告および監査報告」に対する質疑応答
質問等なし

- 2) 第3号議案「2022年度活動方針および活動計画」、第4号議案「2022年度予算案」に対する質疑応答

要望：非Eグループ会員で議案書が届いていない会員がいたが、予算を付けて、議決権行使書と一緒に本部から送った方がいいのではないかと。

回答：非Eグループ会員へ議案書を届けるのは1月の臨時総会の決議により、地域じゃおが対応することになりました。3月の運営委員会で本部から送付という意見もありましたが、臨時総会で決まったばかりなので、それに従い本部から送付はしないこととしました。議決権の行使については、本部の責任領域と考え、議決権行使の案内と行使ハガキを本部から送付しました。議案書が届いていないということであれば担当の地域じゃおの問題だと考えます。

回答：ベイサイドの手違いです。申し訳ありませんでした。

- 3) 第5号議案「『新規会員入会促進キャンペーン』の継続について」に対する質疑応答

意見：成果が大きくて会員が増えるなら分かるが、今は効果が見えない、お金の多寡の話ではなく、会費を無くして入会してもらいたいのか、今、湘南でやっている体験入会で、実際にじゃおに興味を持ってもらった人に体験してもらい、活動が自分に合うか、どのような活動が行えるのか、体験してもらいべきではないか。1年間会費なしでいいというのは本末転倒のような気がする。お金の判断ではない、活動を一緒にやることで判断してもらいたいのか。キャンペーンに対する会員の意識が低い。

回答：入会キャンペーンは、あくまでも新規入会者の入会のハードルを下げることで既存会員の紹介のハードルを下げる措置と考えています。新規入会者の募集は言うまでもなく各地域じゃおが担っており、募集方法、体験入会（お試し期間）の期間や方法、会員勧誘の困難さ等も地域ごとに違いがあると認識しています。会員の入会手続きを行っている本部としては、この入会キャンペーンにより、新入会員の入会時の取り扱いを地域じゃお横並びにする効果があることと、上述のように少しでも入会のハードルを下げることで継続を提案しています。もちろん、ご意見のように活動自体に興味があれば入会に繋がらないというのはもったいなことだと思いますが、まずは、体験してもらうために多少なりとも役立つ施策ではないかと考えています。新入会員の獲得が最重要課題であるというのは、この数年総会議案書の中でも訴えてきておりますので、地域じゃおにおいても、世話役会等で新入会員の獲得についての課題認識と具体策の検討をお願いしたいと思います。

- 4) 第6号議案「2022年度役員選出案」説明、質疑応答

追加説明：会則第9条では運営委員は原則として各地域2名以上とあります。本年の委員の構成では、県央からの立候補は1名ですが多摩・田園から3名の立候補があり総数で8名体制を確保しているので、本年については県央からの1名のみ立候補を認めました。

質問等なし

3. 今後の予定

5月末までに、新規に選出された運営委員の互選により、代表、副代表、会計1名およびその他の役割分担を決定して、6月のじゃおニュースでご報告致します。

以上

報告者：大出 佳和（総会担当）